

はじめに

この消防年報は、春日部市の消防現勢及び消防業務に関する統計資料を総合的に収録し、消防事情を広く紹介するために編集したものです。

本書が、消防関係者はもとより、多くの皆様方に広く御活用され、本市の消防行政について御理解をいただければ幸いです。

令和8年5月

春日部市消防本部

目 次

春日部市の概要	1
消防本部の歩み	2
歴代消防長	6
消防団の歩み	7
歴代消防団長	9
人口の推移	10
消防予算（当初）	10

1 総務編

(1) 春日部市消防本部組織機構図	11	(7) 職員の配置状況	18
(2) 消防機関の配置状況	12	(8) 職員の年齢別状況	19
(3) 消防庁舎の概要	13	(9) 職員の勤続年数別状況	19
(4) 消防本部事務分掌	14	(10) 職員の資格取得状況	20
(5) 消防署事務分掌	17	(11) 職員の教育研修状況	21
(6) 階級別職員数	18		

2 予防編

(1) 防火対象物数・立入検査実施状況	22	(7) 危険物施設事務処理状況	26
(2) 用途別中高層建物状況	23	(8) 危険物施設立入検査実施状況	26
(3) 消防用設備等設置届出数	24	(9) 類別危険物施設状況	27
(4) 消防同意件数	24	(10) 広報活動・訓練実施状況	28
(5) 火災予防条例に基づく届出状況	25		
(6) 危険物施設状況	26		

3 警防編

(1) 消防車両等 (消防車両等の配置及び種別)	29	(3) 消防水利設置状況	32
(2) 救助器具装備状況	31	(4) 消防の相互応援協定	33

4 指令編

(1) 119番受信件数の推移	34	(5) 医療機関問合せ科目別内訳	36
(2) 119番通報内容別受付状況	34	(6) 緊急通報システムからの受信件数状況	36
(3) 電話別119番受信状況	35	(7) 気象観測状況	37
(4) 電話別119番受信割合の推移	35	(8) 気象情報受理件数	38

5 火災編

(1) 火災損害総括表	・・・	39	(5) 地区別火災件数	・・・	41
(2) 火災件数及び損害額	・・・	40	(6) 火災の覚知状況	・・・	42
(3) 建物火災の用途区分	・・・	41	(7) 出火原因別火災件数	・・・	42
(4) 人口及び世帯数に対しての 火災統計等	・・・	41	(8) 時間別火災件数	・・・	43

6 救急・救助編

(1) 救急出動状況	・・・	44	(6) 「年齢区分別・傷病程度別」 搬送人員	・・・	47
(2) 「事故種別・時間別」 救急出動状況	・・・	45	(7) 救急出動件数	・・・	48
(3) 「事故種別・理由別」 不搬送件数	・・・	46	(8) 救助活動件数及び 救助人員の推移	・・・	49
(4) 「事故種別・年齢区分別」 搬送人員	・・・	46	(9) 事故種別救助出動等の状況	・・・	49
(5) 「事故種別・傷病程度別」 搬送人員	・・・	47			

7 消防団編

(1) 春日部市消防団人員編成表	・・・	50	(4) 団員の勤続年数（階級別）	・・・	52
(2) 消防団車庫所在地	・・・	51	(5) 団員の勤続年数（分団別）	・・・	52
(3) 消防団車両配置	・・・	51	(6) 団員の年齢構成（階級別）	・・・	53
			(7) 団員の年齢構成（分団別）	・・・	53

春日部市の概要

【市の概要】

春日部市は、平成17年10月1日に旧春日部市と旧庄和町の1市1町が合併し、誕生いたしました。

都心から35km圏、関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置し、南北約12km、東西約11kmの市域を有しています。

古く、江戸時代には、日光街道などの主要道路の整備とともに、粕壁宿として栄え、発展を遂げてまいりました。

現在は、東西方向に東武アーバンパークライン（東武野田線）と国道16号が横断し、南北方向には東武スカイツリーライン（東京メトロ日比谷線、半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と、国道4号・4号バイパスが縦断し、首都圏における交通の要衝として、にぎわいをみせています。

また、都心への通勤圏であるにもかかわらず、水田や屋敷林が広がる水と緑の豊かな都市として、美しい景観と恵まれた自然環境を有しています。

これらの特性を十分に生かし、たくさんの明るい笑顔が輝き、いきいきと暮らしている人々と魅力的なまちを行き交う多くの人で活気にあふれ、だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまち「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を本市の将来像としております。

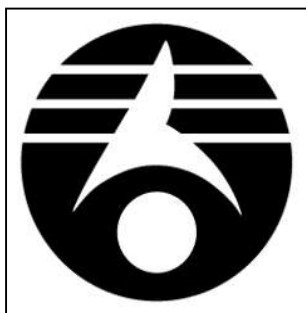
【位置と面積】



位置 東経 139度45分
北緯 35度58分
総面積 66 km²
標高 6.1m



【市章】



「春日部市の市章」

デザインには「市民主役・環境共生・自立都市」を目指して飛躍と発展を続けるまちづくりを推進する願いが込められています。

◇消防本部の歩み◇

【旧春日部市消防本部】	【旧庄和町消防本部】
<p>昭和29. 7 春日部町・武里村・豊春村・幸松村・豊野村の1町4村が合併し、市制を施行する。</p> <p>昭和38. 8 仮消防本部庁舎において春日部市消防本部・消防署を設置する。</p> <p>昭和43. 11 消防本部庁舎を新築移転する。</p> <p>昭和47. 1 武里分署を新設する。</p> <p>昭和50. 3 消防本部庁舎を増築する。</p> <p>昭和50. 12 浜川戸分署を新設する。</p> <p>昭和52. 12 豊野分署を新設する。</p> <p>昭和60. 3 幸松分署を新設する。</p> <p>平成 4. 7 春日部市消防本部・消防署を新築移転し、防災センターを併設する。 消防本部・消防署の移転に伴い、これまでの消防本部庁舎を東分署と改める。</p> <p>平成 7. 12 東分署を建て替える。</p> <p>平成 9. 3 備後分署を新設する。</p>	<p>昭和29. 7 川辺村・南桜井村・富多村・宝珠花村の4村合併により庄和村となる。</p> <p>昭和39. 4 町制施行により庄和町となる。</p> <p>昭和50. 4 庄和町消防本部を設置する。</p> <p>昭和52. 4 消防本部・署を置く町村を指定する告示により指定される。 消防署を設置する。</p> <p>昭和54. 3 消防本部・消防署を新築移転する。</p>
【春日部市消防本部】	
<p>平成17. 10 旧春日部市・旧庄和町合併により、春日部市消防本部が発足する。 職員定数を304人とする。 1本部4課2署6分署の組織とする。</p> <p>平成18. 1 浜川戸分署の消防ポンプ自動車を更新する。</p>	

平成18. 2

備後分署の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。

平成18. 3

春日部庄和危険物防火安全協会から連絡車（乗用車・軽自動車）が寄贈される。

平成19. 2

春日部消防署の緊急資材運搬車を更新する。

平成19. 3

春日部消防署の高規格救急自動車及び浜川戸分署の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
庄和消防署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。

平成19. 12

春日部消防署に小型動力ポンプ付積載車を配置する。
春日部消防署に消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。
東分署の屈折はしご車(15m)を屈折はしご車(25m)に更新する。

平成20. 4

職員定数を298人に改正する。

平成20. 10

幸松分署の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。

平成21. 2

社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈される。

平成22. 1

庄和消防署の高規格救急自動車を更新する。

平成22. 2

東分署の高規格救急自動車を更新する。

平成24. 1

豊野分署の高規格救急自動車を更新する。

平成24. 3

春日部消防署の救助工作車を更新する。

平成24. 11

庄和消防署の消防ポンプ自動車を更新する。
豊野分署の消防ポンプ自動車を更新する。

平成25. 1

武里分署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。
備後分署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。

平成26. 1

庄和消防署に支援車を配置する。
備後分署の消防ポンプ自動車を更新する。

平成26. 2

武里分署の高規格救急自動車を更新する。

平成26. 11

春日部市危険物防火安全協会から査察車（軽自動車）が寄贈される。

平成27. 1

浜川戸分署の化学車を更新する。

平成27. 2

備後分署の高規格救急自動車を更新する。

平成27. 4

消防救急デジタル無線の運用を開始する。

平成27. 11

春日部消防署の高規格救急自動車を更新する。

平成28. 11

浜川戸分署の高規格救急自動車を更新する。

平成29. 1

庄和消防署の庁舎耐震工事が完了する。

平成29. 12

幸松分署の高規格救急自動車を更新する。

平成30. 2

東分署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。
幸松分署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。

平成31. 1

東分署の高規格救急自動車を更新する。
春日部消防署のはしご車（40m）を更新する。

平成31. 2

春日部消防署の指揮車を更新する。

令和 2. 1

庄和消防署の高規格救急自動車を更新する。

令和 2. 2

豊野分署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。

令和 2. 11

春日部消防署の緊急資材人員搬送車（予防1）を更新する。

令和 3. 1

豊野分署の高規格救急自動車を更新する。

令和 3. 2

庄和消防署に緊急資材運搬車（春日部資材2）を配置する。

令和 3. 12

武里分署の高規格救急自動車を更新する。

令和 5. 5

庄和消防署の消防ポンプ自動車（水槽付）を更新する。

令和 5. 12

春日部消防署の高規格救急自動車を更新する。

令和 6. 2

庄和消防署の救助工作車を更新する。

令和 6. 3

豊野分署の庁舎耐震工事が完了する。

令和 6. 7

武里分署、春日部消防団第7分団車庫を複合施設として新築移転する。

令和 6. 12

春日部消防署の消防ポンプ自動車（水槽付）を、消防ポンプ自動車（水槽付・13mブーム付）に更新する。

令和 7. 1

備後分署の高規格救急自動車を更新する。

令和 7. 11

浜川戸分署、幸松分署の高規格救急自動車を更新する。

令和 8. 4

東埼玉消防指令センターの運用が開始する。

◇歴代消防長◇

【旧春日部市消防本部】		【旧庄和町消防本部】	
氏 名	在 任 期 間	氏 名	在 任 期 間
山口 宏 ※消防長事務取扱	昭和38.8.1～昭和41.9.11	田中政視 ※消防長事務取扱	昭和50.4.～昭和50.9
皆川政造 ※消防長事務取扱	昭和41.9.12～昭和43.10.31	根岸精一 ※消防長事務取扱	昭和50.10.～昭和54.3
田中俊治 ※消防長事務取扱	昭和43.11.1～昭和46.7.31	前島祐司 ※消防長事務取扱	昭和54.4.～昭和58.3
皆川政造 ※消防長事務取扱	昭和46.8.1～昭和50.5.9	神谷 尚 ※消防長事務取扱	昭和58.4.～平成4.11
佐藤好二	昭和50.5.10～昭和55.5.9	石原 弘 ※消防長事務取扱	平成4.12.～平成7.3
新井昌夫	昭和55.5.10～昭和61.3.31	秦野敏雄	平成7.4.～平成10.3
菱沼栄一	昭和61.4.1～昭和62.3.31	石原 弘 ※消防長事務取扱	平成10.4.～平成11.3
尾島正徳	昭和62.4.1～平成4.3.31	星野政夫	平成11.4.～平成14.3
神田 勝	平成4.4.1～平成8.3.31	古澤好夫	平成14.4.～平成16.3
池澤 正	平成8.4.1～平成12.3.31	細井敏明	平成16.4.～平成17.9
小泉匡男	平成12.4.1～平成16.3.31		
新井一夫	平成16.4.1～平成17.3.31		
日向一夫	平成17.4.1～平成17.9.30		
【春日部市消防本部】			
氏 名	在 任 期 間		
日向一夫	平成17.10.1～平成21.3.31		
中島幸一	平成21.4.1～平成24.3.31		
笥田一夫	平成24.4.1～平成26.3.31		
田中二三夫	平成26.4.1～平成29.3.31		
佐藤 晃	平成29.4.1～令和3.3.31		
亀井幸成	令和3.4.1～令和4.3.31		
島田 力	令和4.4.1～		

◇消防団の歩み◇

【旧春日部市消防団】	【旧庄和町消防団】
<p>昭和29. 7 春日部市消防団が18個分団、定員270人で発足する。</p> <p>昭和33. 1 分団数を8個分団、定員を122人とする。</p> <p>昭和49. 9 第4分団車庫を建て替える。</p> <p>昭和61. 3 第1分団及び第2分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成 2. 3 第7分団車庫を建て替える。</p> <p>平成 7. 3 第5分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成11. 3 第2分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成12. 3 第8分団車庫を建て替える。</p> <p>平成16. 1 第3分団車庫を新築移転する。</p>	<p>昭和30. 4 庄和村消防団が4個分団、定員58人で発足する。</p> <p>昭和35. 11 第5分団を設置する。定員を72人とする。</p> <p>昭和39. 4 町制施行により「庄和町」となる。</p> <p>昭和44. 7 第6分団を設置する。定員を86人とする。</p> <p>昭和58. 3 第3分団車庫を新築移転する。</p> <p>昭和61. 10 第4分団車庫を建て替える。</p> <p>平成 2. 9 第2分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成 7. 3 第5分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成 8. 3 第1分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成 8. 4 定員を92人とする。</p> <p>平成10. 3 第6分団車庫を新築移転する。</p>
【春日部市消防団】	
<p>平成17. 10 (旧)春日部市・(旧)庄和町合併により、春日部市春日部消防団と春日部市庄和消防団が発足する。連合消防団を編成する。 初代連合消防団長に長谷川紀八郎氏が就任する。 定員を214人とする。 春日部消防団8分団と庄和消防団6分団の組織とする。</p> <p>平成17. 10 春日部消防団第6分団車庫を新築移転する。</p> <p>平成17. 12 庄和消防団第3分団の消防ポンプ自動車を更新する。</p>	

平成18. 1

春日部消防団第5分団、第8分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成19. 2

春日部消防団第7分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成19. 9

春日部消防団第4分団車庫を新築する。

平成20. 3

春日部消防団第4分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成21. 3

庄和消防団第4分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成22. 2

庄和消防団第2分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成22. 3

庄和消防団第5分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成22. 4

連合消防団長に須賀正幸氏が就任する。

平成24. 2

庄和消防団第1分団の消防ポンプ自動車を更新する。
春日部消防団第2分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成26. 12

庄和消防団第6分団の消防ポンプ自動車を更新する。

平成30. 11

庄和消防団第1分団車庫を新築移転する。

令和 6. 7

春日部消防団第7分団車庫を新築移転する。

令和 6. 12

春日部消防団第1分団の消防ポンプ自動車を更新する。

令和 7. 12

春日部消防団第3分団の消防ポンプ自動車を更新する。
春日部消防団第6分団の消防ポンプ自動車を更新する。

令和 8. 4

春日部市春日部消防団、春日部市庄和消防団を統合し、連合消防団制を廃止し新たに春日部市消防団を発足する。

初代消防団長に藤枝哲也氏が就任する。

定員214人、15個分団（女性分団も含む）の組織とする。

◇歴代消防団長◇

【旧春日部市消防団】		【旧庄和町消防団】	
氏 名	在 任 期 間	氏 名	在 任 期 間
坂 卷 千代吉	昭和29.7.20～昭和33.1.16	増 山 正太郎	昭和30.4.1～昭和54.3.31
山 口 宏 ※消防団長事務取扱	昭和33.1.17～昭和37.6.17	笹 生 信 一	昭和54.4.1～平成3.5.31
奥 貫 義 夫	昭和37.6.18～昭和48.10.11	坂 卷 勇	平成3.6.1～平成12.3.31
辻 源太郎	昭和49.1.7～平成2.12.16	小谷野 孝 男	平成12.4.1～平成17.9.30
笹 川 圭 司	平成2.12.17～平成14.11.30		
長谷川 和 雄	平成14.12.10～平成16.5.13		
長谷川 紀八郎	平成16.5.24～平成17.9.30		
【春日部市消防団】			
春日部消防団		庄和消防団	
氏 名	在 任 期 間	氏 名	在 任 期 間
長谷川 紀八郎	平成17.10.1～平成22.3.31	小谷野 孝 男	平成7.10.1～平成25.2.21
須 賀 正 幸	平成22.4.1～令和8.3.31	藤 枝 哲 也	平成25.3.1～令和8.3.31
【春日部市消防団】			
氏 名	在 任 期 間		
藤 枝 哲 也	令和8.4.1～		

◇人口の推移◇

(各年4月1日現在)

年 別	区 分	世帯数	人 口			人口密度(人)
			男	女	計	(1Km ² あたり)
平成 29 年		103,934	117,366	118,720	236,086	3,577
平成 30 年		105,008	116,879	118,493	235,372	3,566
令和 元 年		105,924	116,285	117,961	234,246	3,549
令和 2 年		107,354	116,029	117,812	233,841	3,543
令和 3 年		108,779	115,691	117,454	233,145	3,533
令和 4 年		109,905	115,335	117,065	232,400	3,521
令和 5 年		111,010	114,537	116,756	231,293	3,504
令和 6 年		112,241	113,941	116,439	230,380	3,491
令和 7 年		113,564	113,374	115,993	229,367	3,475
令和 8 年		114,938	112,913	115,709	228,622	3,464

◇消防予算(当初)◇

(単位:千円)

年度別	区 分	市予算	消防費	比率	消 防 費 内 訳			
					常備 消防費	非常備消 防費	消防 施設費	水防費
令和 4年度		80,830,000	2,303,844	2.9	2,157,707	49,302	95,355	1,480
令和 5年度		89,700,000	3,197,180	3.6	2,908,752	50,748	236,201	1,479
令和 6年度		89,900,000	2,700,654	3.0	2,434,345	52,025	212,804	1,480
令和 7年度		93,330,000	3,288,569	3.5	3,072,304	54,064	160,722	1,479
令和 8年度		93,100,000	2,940,320	3.1	2,742,008	51,760	145,073	1,479